

# 施設のご案内

 食事処  温泉  宿泊施設



匹見峡温泉  
やすらぎの湯



匹見峡温泉は2つの自家源泉を持ち、単純弱放射能冷鉱泉・温泉で、まろやかな肌触りは美肌の湯として人気があります。露天風呂、岩風呂、檜風呂、サウナを完備しています。

住所: 益田市匹見町匹見イ713  
電話: 0856-56-1126  
営業時間: 11時～20時(最終受付19時)  
定休日: 月曜・火曜



ねむの木



匹見産材を使った木の器が  
こだわります。わさび料理も  
あります。

うずめ飯定食



住所: 益田市匹見町匹見イ69  
電話: 0856-56-0353  
営業時間: 11時～13時30分(L.O.13時)  
17時～19時30分(L.O.19時)  
定休日: 月曜



さえき食堂



「美味しくて安い！」が自慢の庶民派食堂  
です。

住所: 益田市匹見町匹見イ1167-2  
電話: 0856-56-0010  
営業時間: 11時～19時30分  
定休日: 日曜



大将



毎日メニューが変わるバイキングが“売り”。  
年中無休で宿泊もできます。

住所: 益田市匹見町匹見イ1260  
電話: 0856-56-0507  
営業時間: 食堂 / 11時～13時  
定休日: 食堂 / 木～日曜  
宿泊 / 年中無休



匹見峡  
レストパーク



西中国山地国定公園内にあり、コテージや  
キャンプ泊が可能。森林浴や紅葉を楽しみ  
ながら、遊歩道を散策したり夏には川遊びも  
可能です。

住所: 益田市匹見町匹見イ853-3  
電話: 0856-56-0341



民泊三四



築190年の自宅を活用した農家民泊。わさびを  
使った郷土料理「うずめ飯」やわさび漬けなど  
の食体験も可能です(要予約)。

住所: 益田市匹見町道川イ214  
電話: 0856-58-0020(三好)  
※11月～3月休業



夢ファクトリー  
みささ



廃校を活用した簡易宿泊施設。男女別の大部  
屋があり、合宿や釣り客などに利用されてい  
ます。自炊設備と共同のシャワー有。

住所: 益田市匹見町紙祖口809  
電話: 0856-56-0659(齋藤)  
※年中無休

# 山林と川の恵みのまち匹見 匹見まち歩きマップ

0856-56-0000



「匹見の山林」と「匹見川」は、日本遺産  
「中世日本の傑作 益田を味わう一地方の時代に輝き再び」  
の構成文化財です。



## 山林と川の恵みのまち匹見 匹見まち歩きマップ

【編集】石橋留美子 【デザイン・印刷】株式会社 益田工房  
【発行元】益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会  
2021年2月19日 第1刷発行

日本遺産

お問い合わせ | 一般社団法人益田市観光協会 〒698-0024 益田市駅前町17-2  
電話: 0856-22-7120 E-mail: info2@masudashi.com



令和2年度文化資源活用事業補助金(観光拠点整備事業)

山林と川の恵みのまち匹見

# 匹見まち歩きマップ

豊かな落葉広葉樹林帯の広がる匹見で縄文の昔から人々は山林と川の恵みを楽しんできました。匹見の山林と匹見川が織りなす美しい景観を、歴史を感じながら歩いてみましょう。

※この面では匹見の中心部、裏面は匹見全体を紹介します。



○…縄文遺跡  
□…中世遺跡



## 過疎とその対策

匹見タウンホール・益田市匹見総合支所  
(匹見豪雪山村開発総合センター)  
緑の工場1500ha記念モニュメント  
※緑の工場1500ha記念モニュメントは、  
匹見タウンホールの敷地内にあります。

**コラム**

### 「過疎」発祥の地と「まちおこし」

炭焼きや林業などの山間地産業により、最盛期の匹見の人口は7,000人を超えました。けれども、エネルギー革命や生活様式の欧米化による産業不振で、人口は減少します。また38豪雪(昭和38年)も、その要因となりました。

当時の大谷武嘉町長は積極的な「過疎」問題提起と「緑の工場」や「集落移転」など先駆的な事業を数多く進め、町民も「まちおこし」に取り組みました。これらの歴史は、人口減少時代に突入した日本が参考にすべきものと言えます。



**コラム**

### 豊かな山間地産業

匹見の豊かな山林は人々の生活と益田の経済を支えました。杉人が切り出した木材は川下しされ、河口の港から国内外へ流通したと考えられています。

木地師と呼ばれる人々は、ロクロで椀や盆などを作りました。ロクロや製品が、匹見ウッドパーク(3)で展示されています。

匹見で唯一

JAしまね 匹見給油所

住所: 益田市匹見町匹見 1270-1  
電話: 0856-56-0251  
営業時間: 7時~18時 (土曜: 8時30分~17時)  
定休日: 日曜

**お土産**

**出合いの里みちかわ**

匹見の特産といえば、わさびです。根茎や葉(季節限定)、わさび漬けなど各種販売しています。お土産に、ご自宅用にお買い求めください。

住所: 益田市匹見町道川1 65-1  
電話: 0856-58-0818(日出来屋商店)  
営業時間: 8時~17時  
定休: 年中無休(1/1.2.3を除く)

**お土産**

**メイズ・ミステリーハウス**

匹見の豊富な広葉樹で作った「森の器」や、オリジナル木製パズルを取り扱っています。手に取って木の温もりと風合いをお楽しみください。

住所: 益田市匹見町匹見1 915  
電話: 0856-56-0550  
営業時間: 9時30分~17時  
※12月下旬~3月上旬休業  
但し、営業期間中は無休

**森の器**

至 匹見峡  
レストパーク→



○…縄文遺跡  
□…中世遺跡

旧割元庄屋「美濃地屋敷」  
美濃地家は、たたら業で栄え、江戸時代後期には複数の村を管轄する庄屋(割元庄屋)を務めました。有力庄屋の繁栄と風格を肌で感じることができます。主屋と米蔵は国登録有形文化財。  
住所: 益田市匹見町道川イ50  
電話: 0856-58-0250  
開館時間: 9時~16時  
休館: 月曜(月曜祝日の場合は火曜)  
冬季(12月中旬~3月中旬)



## “山”の恵み

- 1 西中国山地国定公園
  - 2 美濃地屋敷
    - 旧美濃地家住宅主屋(国登録有形)
    - 旧美濃地家住宅米蔵(国登録有形)
  - 3 匹見ウッドパーク…※中心図
    - 足踏み轆轤一式(市歴史資料)
  - 4 メイズ・ミステリーハウス…※中心図
  - 5 大神ヶ岳(市史跡及び名勝)
  - 6 若宮神社の銀杏(市天然)
  - 7 栃原の高野槇(市天然)
  - 8 本谷山たたら跡(市史跡)
  - 9 八幡宮の夫婦榎(市天然)…※中心図
  - 10 三本柵(市天然)
- ※ガイド対応可能(有料)。



### 縄文遺跡群 中世遺跡群

匹見に広がる落葉広葉樹林帯には、豊富な木の実やこれを食べる獣が生息し、縄文時代の人々が住みやすい地域でした。このため、県下で最も古い旧石器時代の新槇原遺跡(県史跡)や、水田ノ上遺跡や石ヶ坪遺跡(市史跡)など多くの縄文遺跡が存在します。また、匹見川の水運や用水を押さえるための中世の領主の山城や館の遺跡も各地に見られます。山根ノ下遺跡からは高級な陶磁器や和鏡が出土しました。

### わさび

急斜面に石を積んだ「溪流式わさび田」で栽培される匹見のわさびは、厳しい環境の中でゆっくりと成長し、肉質が緻密ですりおろすと強く粘り、マイルドな辛みの中に甘みが広がります。このわさびを使った郷土料理に「うずめ飯」があります。町内の飲食店や民泊施設でお召し上がりいただけます(事前にご確認・ご予約ください)。

### トチ餅

トチの実が多く採れる匹見には、トチ餅の食文化が残っています。アク抜きに手間暇がかかりますが、独特の風味にファンも多く、全国から注文を受ける加工団体もあります。



### 個性豊かな民俗芸能

石見神楽は、六調子系の祖型をのこす三葛神楽(県無形民俗)、英語での公演にも取り組む道川神楽、神楽を核にした独自イベントの企画・運営を行う匹見神楽(ともに市無形民俗)の3団体が活動しています。田原大元神社での藁蛇神事(9月初め頃、市無形民俗)は、稲藁で頭部が龍の形をした長さ約7mの蛇形をつくり、ご神木に巻き付け五穀豊穡を祈る珍しい神事です。



藁蛇神事

三葛神楽

匹見峡  
西中国山地の奥深くを源流とする匹見川やその支流では、多くの奇岩や滝、淵など、変化に富んだ峡谷美を見せ、新緑や紅葉とともに楽しむことができます。



道路脇から名勝が臨める表匹見峡



落差53mの滝「大竜頭」

- ## “川”の恵み
- 1 澄川発電所本館(国登録有形)
  - 2 匹見発電所本館(国登録有形)
  - 3 豊川発電所取水口
  - 4 表匹見峡
  - 5 奥匹見峡
  - 6 裏匹見峡
  - 7 前匹見峡
  - 8 澄川発電所取水口…※中心図
  - 9 匹見発電所取水口

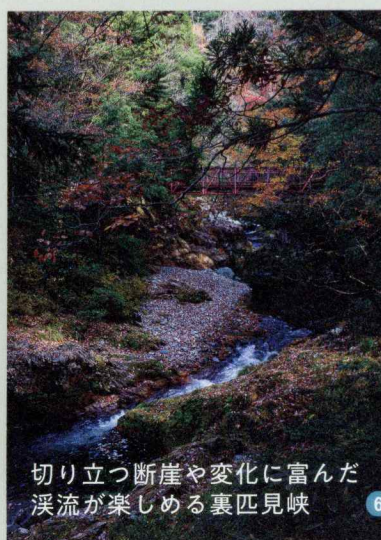


澄川発電所



匹見発電所

匹見川沿いには豊富な水量と急峻な地形を利用した水力発電所(匹見、澄川、豊川)があり、モダンな建築を見ることができます。いずれも本館が国指定登録有形文化財で、見学可能です。  
[問] 中国電力株式会社西部水力センター  
電話: 0856-24-1075



切り立つ断崖や変化に富んだ溪流が楽しめる裏匹見峡